

# ヒクイナ

*Porzana fusca* (Linnaeus)

## ツル目クイナ科

石川県カテゴリー 絶滅危惧Ⅰ類

国カテゴリー 絶滅危惧Ⅱ類

### 選定理由

湿地や水田に夏鳥として渡来して繁殖する鳥であるが、近年の湿地の減少や後背地の自然性の減少などにより、生息個体数が著しく減少している。

### 形態

中型のクイナで、全長22cm、翼長11cm、体重60～100g。首の後から体上面は暗緑褐色ででて頭部、首、胸、上腹は赤茶色、脇から下尾筒暗褐色で白い横縞がある。嘴は緑褐色で足は赤色。虹彩は赤色。幼鳥は成鳥より赤みが淡い。

### 国内分布

北海道から九州で夏鳥として繁殖し、九州などでは越冬するものもいる。

### 県内分布

夏鳥として渡来し、大聖寺川下流、片野鴨池、柴山潟、手取川、犀川下流、河北潟、邑知潟、七尾西湾などで繁殖例や観察例がある。渡りの時期には舩倉島でも観察されている。奥能登でも生息すると推測されるが、詳細は不明である。

### 生態

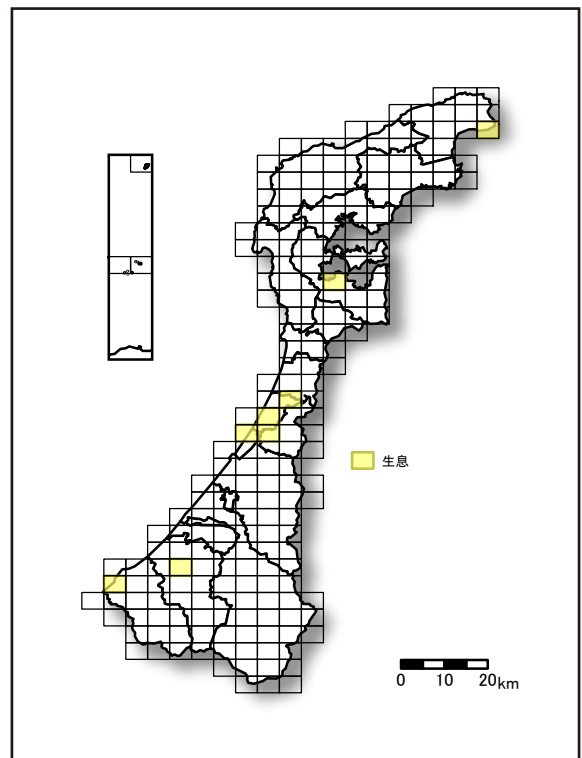
平地や低山の水田や湿地に生息し、イネや草の中に巣をつくる。一腹卵数4～9個で、約20日で孵化する。餌は水生昆虫、貝、小魚、草の種子などである。夜間に「コッコッコ」と次第にテンポのはやくなる連続した声で鳴き、「クイナのたたく声」とよばれている。

### 生息地の条件

水生昆虫や小魚などの餌が豊富にある湿地や水田に生息する。

### 生存の危機

近年の水田環境の変化で生息、繁殖に適した環境が減少している。環境適応性が極めて低く、排水溝のコンクリート化などによる水田の乾田化の影響が指摘されている。(A, B)



県内の分布